



優しい微笑みをあなたに  
～フーガ2矯正&ブライト歯科  
の矯正治療～

フーガ2矯正&ブライト歯科 院長 青柳佳治

フーガ2矯正&ブライト歯科 小冊子

## ご挨拶

こんにちは。フーガ2矯正&ブライイト歯科の院長・青柳佳治です。私たちフーガ2矯正&ブライイト歯科は開院以来、地域の皆様のホームドクターの一員として多くの患者様に対して、一人ひとり真摯に向き合ってきました。今後も



この姿勢を崩さず、患者様の気持ちになって診療を行う事をお約束します。どうぞよろしく  
お願い致します。

この小冊子では、矯正治療について、当院で行っている治療の特徴や扱っている装置、よくいただく疑問・質問まで皆さんにも分かりやすく解説しています。もし、あなたが矯正治療に迷っているなら、ぜひ一読してみてください。きっと矯正治療にチャレンジしたくなるようなヒントがたくさん詰まっていますよ！

フーガ2矯正&ブライイト歯科院長/青柳佳治

## 第一章 はじめに

### 信頼できる当院のスタッフたち

当院は院長/青柳佳治を中心にしたクリニックです。歯科医師は原則、院長一人です(以前は、勤務医も雇用していましたが、ワンマン体制の方が、最終的には患者様のためになると判断しました。研修医が治療することはありません)。



ですから、一度に多くの患者様を診たりすることはできないのですが、すべての患者様を院長が直接診療を行います。つまり、治療開始から終了まで一貫して同じドクターが対応する事で、責任感のある治療が提供できるのです。

また、(1)信頼できる当院のスタッフたち(2)著名人を手がける歯科技工所(3)難しい抜歯や専門性の高いインプラント治療などに対して大学附属病院と連携して、ご来院頂けた患者様、一人ひとりをご納得頂ける治療を施せるよう心がけています。

特に当院のスタッフたちは、非常に優秀であるだけでなく、とても優しい心の持ち主であり、このスタッフ達と一緒に仕事ができる事を私は誇りに思っています。患者様からの評価も高く、「衛生士さんが安心できる」「受付の方の対応がとても丁寧」など、たくさんのお褒めの言葉を頂いております。

### 矯正・審美・予防に優れ、応用できる地域一番歯科医院を目指す

笑顔で始まり、笑顔で終わる。そんな日のために、矯正治療が必要になる事があります。歯並びや噛み合わせが悪いと、見た目だけでなく、様々な障害を引き起こすことは、決してめずらしい事ではありません。



矯正治療は決して楽でないこともありますが、矯正治療を終え、美しい口もとで微笑んでいる方が増えているのも事実です。きれいな歯並びと機能的な噛み合わせで、豊かな人生をおくる事ができたなら、これに勝るものはないと考えています。

当院の院長は、日本矯正歯科学会認定医および日本成人矯正歯科学会認定医の資格を取得していますので、安心して矯正治療を行います。

また、矯正治療を終了し

- (1)きれいな歯並びとしっかりした噛み合わせになったが、装置を外したらむし歯だらけ
- (2)他の歯医者さんで、元々あったむし歯を治してもらったら、しつくり来なくなった。
- (3)せっかく矯正したので、変色していた歯もきれいにしようと他の歯医者さんに治療してもらったが、噛み合わせや色に不満が残った。

こういった事が起こらない様に、当院では、“矯正・審美・予防に優れ、応用できる地域一番歯科医院”を目標に日々研鑽しています。

### 納得された方だけに矯正治療を開始しています

当院では、矯正治療においても、なるべく患者様の希望にそった治療を心がけていますが、そのひとつとして、無理に矯正治療を勧めたりはしないという事があげられるかも知れません。



ある先生が“こんな歯並びを放置しておいたのは、親の責任だ！”と発言しているのを聞いて、私は、違和感を覚えました。私も、矯正治療の優れた面を少なからず認識していますし、日本に矯正治療がもっと普及してくれたなら、日本人が国際的に活躍できる事

が多くなるのではないかと常々思っています(実際、矯正治療の普及率は、アメリカはもちろん、お隣の韓国よりも低いと言われています)。

けれども、いくら矯正治療が優れた面が多いからといって、患者様や家族の方には、それぞれの価値観があるのですから、矯正治療を無理に勧めることはできないというのが私の考えです。逆に、矯正治療について理解を深め、納得された方だけに矯正治療を開始しています。

矯正治療について理解を深める第一歩として、当院では無料の矯正相談をご用意しています。矯正治療を真剣に考えている方、あるいは、お子様の矯正治療を真剣に考えている親御様は、どうぞ無料の矯正相談をご予約ください。予約が取りにくかったり、お時間を頂くことになったりする事があるかもしれませんが、矯正治療についての悩みが解決するかも知れませんよ。

## 口元を美しくしたい方へ

笑顔が少なくなっているのは、虫歯、歯の変色、悪い歯並びや噛み合わせ、口臭などが原因であることが少なくありません。そんな時のために、審美歯科治療があります。歯を綺麗にするには、歯のクリーニングや毎日の歯みがきから始まり、セラミック治療、歯の

ホワイトニング、矯正治療を単独あるいは組み合わせる事によって行われます。多くは、保険外療費ですが、保険適用の場合もあります。

私たちは、単純な機能回復のみならず、すこしでも皆様の期待にそえる健康美を提供できるように心掛けています。確かな技術がお口の快適さをサポートします。そして、美しい歯を保とうとするエネルギーが予防につながると考えています。

## 第二章 当院の矯正治療について

### 【矯正歯科】矯正のエキスパートである院長

“歯並びが気になって、人前で大きな口を開けて笑えない”“口もとの自信のなさから、思い切りオシャレを楽しめない”そんな悩みを抱えている方はいませんか？こうした悩みを解決するのが矯正歯科治療です。この章では、当院院長の技術力についてご紹介します。

### 優れた知識と技術力/日本矯正歯科学会認定医

当院の院長は「日本矯正歯科学会認定医」および「日本成人矯正歯科学会認定医」の資格を取得した、信頼と実績ある矯正歯科医です。



日本矯正歯科学会の認定医は日本矯正歯科学会が認めるもので、定められた歯科矯正医療機関で5年以上の臨床経験を積み、さらに学会での論文発表を行い、厳しい基準をクリアした矯正医だけに与えられる資格です。

一方、日本成人矯正歯科学会の認定医は日本成人矯正歯科学会が認める資格で、成人に対する本格的な矯正治療の技術と知識と経験ならびに倫理観が備わっている矯正医に与えられるものです。

これら2つの資格は、矯正医の水準を判断するひとつの指針ともいえます。この資格を持つ当院だからこそ、優れた技術力を生かし、一人ひとりの患者様に合った治療が行えるのです。より完成度の高い矯正治療を目指し、「矯正・審美・予防に優れ、応用できる地域一番歯科医院」を掲げ、日々研鑽しています。

### 幅広い症例をカバー。矯正中のむし歯・歯周病予防も

当院の院長は鶴見大学歯学部大学院で予防歯科を研究し、歯学博士号を取得しました。神奈川県立歯科大学矯正歯科に入局後は、矯正専門医院の指導医のもとで矯正臨床にあたり、これまでに1500症例以上の治療実績があります。その中には口唇口蓋裂※(こうしんこうがいれつ)などの難治症例などもあり、当院は矯正歯科に関する「更生・育成医療指定医療機関※」にも認定されています。

矯正専門医は矯正治療のエキスパートです。多くの矯正歯科医は矯正治療の知識と技



術を中心に研鑽を積んでいますので、歯並びの美しさと噛み合わせを重視したより完成度の高い治療を行っています。

しかし、専門性の高い分野であるゆえに、多くの矯正歯科医は、矯正治療中のむし歯・歯周病治療あるいは予防を基本的には行いません。そのため、装置を外してみたらむし歯だらけといった事が実際に起きているのです。

矯正治療をスムーズに進めるためには、治療中のむし歯・歯周病予防が必要です。当院では予防歯科を取り入れながら、歯並びの美しさと正しい噛み合わせを考慮したご満足頂ける治療を目指しています。

※口唇口蓋裂は先天性異常のひとつで上唇や口蓋部に裂け目がある症状。

※口唇口蓋裂などのような難治症例を治療する際、国や地方自治体の補助制度を使って治療が受けられる医療機関。

### 審美・予防を含めた一般歯科に強い矯正歯科医

当院では「一生自分の歯で快適に」を重点におき、診療の基本を予防・審美にしています。その中でも特筆すべきことは審美・予防を含めた一般歯科治療において、さらに矯正治療においても患者様の望んでいることに無理なく応えられる事です。

むし歯から歯周病、歯並び・噛み合わせまで、口の中全

体の状態を把握しながら、一人ひとりの患者様に合った

丁寧な治療を行っています。さらにご自身の口の中の状

態をきちんと知って頂きながら、予防歯科の立場から自

分自身の手で歯を守るためのお手伝いを、積極的に行っています。地域一番の歯科医院を目標に、地域の皆様の歯の健康を守るホームドクターとして末長いお付き合いができたなら幸甚です。



### 矯正治療が必要な人だけを治療します

当院ではなるべく患者様のご希望にそった治療を心がけていますので、無理に矯正治療を勧めることはありません。それは院長自身、人に無理に勧められることを好まないからです。

以前、ある先生が「こんな歯並びを放置しておいたのは、親の責任だ！」とおっしゃっていたのを聞き、違和感を覚えた事があります。

確かに矯正治療は患者様の歯の健康を守る優れた治療だと認識しています。しかし患

皆様やご家族にもそれぞれの価値観があります。いくら優れた治療だからといって無理やり勧められては、逆に反発するだけで本当に必要な治療が受けられなくなってしまいます。

当院では決して無理にお勧めすることはありません。矯正治療を求めている方、あるいは必要な方だけに説明し、治療に対する理解を深めて頂き、納得されたうえで矯正治療を開始しています。



その第一歩として無料の矯正相談を行っております。ご自身の矯正治療を真剣に考えている、あるいはお子様の矯正治療を真剣に考えているご家族は、ご予約のうえお気軽にご相談ください。

## インプラント矯正について

最近「インプラント矯正は扱っていますか？」という質問を時々受けるようになりました。

当院では、インプラント矯正を取り入れていますが、適応症を選んでいきます。

インプラント矯正は、歯を動かすための固定源として用いられるため、通常のインプラントと違い、矯正治療後に撤去します。大変有効な装置なのですが、インプラント矯正に用いられる材料は、骨結合の材料として厚生労働省の認可を取得しているものの、インプラント矯正自体に用いる場合としては認可の申請中です。

ですから、当院でインプラント矯正を用いるのは、インプラント矯正が他の矯正装置では得られない効果を期待できる時のみとさせて頂き、また、ご面倒であってもこの旨をご説明させて頂き、同意書を頂くようにしています。

## 第三章 できるだけ抜歯をしない矯正

矯正相談に行ったら歯を抜かないと矯正できないといわれ、ショックを受けてしまった。

このような経験をされた方はいらっしゃいませんか？

当院ではできるだけ歯を抜かない矯正治療を心がけています(※)。矯正治療の患者様のうちお子様から始めた場合ですと約8割、大人でも約5割の方が非抜歯で治療行っています。もちろん、子どもに比べ成人の方が抜歯率は高くなりますが、それでも一般的に言えば高い非抜歯率といえます。



この章では当院の抜歯・非抜歯の考え方についてご説明します。

※すべての患者様が非抜歯で矯正治療ができるというわけではありません。歯やあごの状態、あるいは顔つきなど総合的に判断したとき、歯を残しておく事で全体のバランスが崩れてしまうこともあります。そのようなときは患者様にきちんと説明したうえで歯を抜くこともあります。矯正治療中の抜歯を心配している方は、一度ご相談ください。

### 抜歯は総合的な判断を元に行う

歯並びが悪い事を気にしている患者様は、口もとも同様にとともに気にしている方が多いものです。不正歯列の程度にもよりますが、矯正医の立場から考えても、やはり見た目は大切です。

たとえば、口もとが前に突き出していると、口が閉じられず半開きの状態になっています。そうすると口の中が乾燥し歯肉の抵抗力が弱くなり歯周病になりやすく、将来的にも歯がぐらついてくる可能性が多くなります。

当院では歯並びと噛み合わせとともに、舌や頬の軟組織(なんそしき)の筋肉の動きなどを考慮しながら、総合的な矯正治療を行っています。

### 歯を抜かないための3つの工夫とは？

当院ではできるだけ歯を抜かないために、次のような治療とアドバイスを行っています。

#### ◆その1

できるだけ早い時期から矯正治療を始めること。7～8歳ぐらいから小児矯正を始め、その後11～14歳ごろから永久歯(成人)矯正を始めます。



## ◆その2

時間をかけながら骨を広げていきます。骨を確実に広げるためには、お口の中の環境、特にお口を支える筋肉の適応が重要であるため、ある程度の時間が必要です。また、骨だけでなく短期間に歯を移動させると元の状態に戻りやすくなりますので、時間をかけながら歯を移動させていきます。

## ◆その3

噛む力をつけるということ。お子様の場合、噛む回数を増やす事で口の周りの筋肉が発達し、あごが広がってきます。骨格系にもよるのですが、基本的には、食事中食べ物をしっかり噛む指導をしています。

## 歯を抜かないために小児矯正の勧め

子どものうちに矯正治療を始めると、歯を抜かずに矯正治療が行える可能性が高くなります。お子様の体の成長期に合わせて治療を行えば、成長を利用してあごの骨が広がられます。大人になってからでは顎切り入院を伴うような外科矯正治療の回避も可能になってきます。

治療開始時期が早ければ早いほど、その後の成人矯正期間を短縮することも可能です。

また、子どものうちにある程度歯並びや噛み合わせを整えていますので、その後の治療も比較的楽になります。

とはいえ小児矯正で歯並びが整ったからといって、あまり早く装置を外すと噛み合わせや骨の位置がずれてしまう事があります。たとえば受け口の治療後、13歳ぐらいで矯正装置を外しても、まだ骨格の成長が残っているため、あごが前方に延びてきてしまうことは珍しくありません。



治療後の戻りを防ぐためにもある程度症状が改善されたあと、しばらく様子を見ながら適切な時期に装置を外すように心がけています。

## 第四章 見えない矯正装置

### 透明なマウスピース矯正(旧クリアアライナー・現アソアライナー)

矯正装置のワイヤーが気になり、矯正治療を諦めている方はいませんか？安心して下さい。見えない矯正装置を使えば、気づかれずに矯正治療が行えます。

当院では確かな装置を使い確実な治療を行っていきたくと考えています。そのため使用する矯正装置は確実性の高いマウスピース矯正(旧クリアアライナー・現アソアライナー)だけを使用しています。



取り扱い数が一種類目と少なく感じますが、それゆえ装置の特長や特性を熟知しています。精通した技術力で効率よく歯を調整しながら、一人ひとりの患者様に合ったより精度の高い矯正治療を行っています。

アライナーは透明ですので、装置を付けているのが、ほとんど分かりません。すべての症例で、使用できるわけではありませんが、積極的に応用しつつあります(当院はアソアラ

イナー認定矯正歯科医院です)。

### ＜アライナーの治療の注意＞

- 食事中はアライナーを取り外してください。
- 食事中以外、睡眠時間も含め1日17時間以上、装着してください。
- アライナーは透明で薄い装置ですので、紛失、変形等には十分ご注意ください。
- アライナーは矯正装置です。良い結果を出すために正しく取り扱しましょう。

### 【アライナー装着時】



アライナーと似たインビザラインという治療法もあるのですが、当院では、インビザラインに関してのお取扱いはしていません。理由は、現時点において、インビザラインは輸入製品として厚生労働省の認可を取得できていないからです。認可が取れば、こちらもすばらしい装置の様ですので、将来的には取り入れて行きたいと考えています。

## 当院が舌側（裏側）矯正を行っていない理由とは？

大変申し訳ございませんが、当院では舌側（裏側）矯正は行っていません。

この装置は歯の裏側に装置を装着するため取り付けや扱いが難しく、また、強い力を歯にかける傾向にあり、強い痛みが伴い易いのです。また舌に装置があたったり、歯を磨きにくかったりと、装置が見えにくいこと以外に患者様にとってのメリットが少ないと考えています。もちろん、矯正装置が見えないと言うこと自体は、大きなメリットなのですが、矯正装置は一生付けているものではなく、いずれ必ずはずす事になります。これらの理由から当院では舌側矯正装置は扱っていませんので、ご理解頂ければ幸いです。

## 第五章 小児の矯正治療と装置

「うちの子はどうやら、受け口みたい」「上の前歯が出ているので、口を閉じられず、いつも前歯が見えている」——お子様の歯並びについてお悩みのご家族の方はいませんか？悪い噛み合わせをそのままにしておくと、実は将来にたくさんのリスクを抱え込むこととなります。

お子様が生涯にわたって健康的な生活を過ごすために、成長発育能力が高い子ども時代に、骨格的なコントロールを行いながら、なるべく永久歯の抜歯をしない矯正治療をお勧めしています。

### 子供の矯正で使用する装置について

当院では効率よく顎の成長をコントロールするために、主に「拡大プレート」「バイオネーター」「ヘッドギア」「フェイシャルマスク」を使った矯正治療を行っています。これらの装置は1日10時間以上、一年以上の装着で治療効果を上げています。より効果をあげるには、できるだけ長時間、長期間の使用が理想ですが、お子様の都合もありますので、ライフスタイルに合わせた使用をご提案しています。

#### ◆拡大プレート

このプレートは、床矯正(しょうきょうせい)とも言われ、取り外しができるプレート(床)により、歯の移動と、顎の骨の拡大をおこなう矯正治療です。取外しが簡単ですので、お子様ご自身で食事の間は外しておきます。



この装置では、歯を正しい位置に動かすとともに、歯の土台そのものを正しい大きさに拡大します。床矯正装置には、スクリューが装着されており、ネジを巻いてスクリューを移動させることで、歯の土台を広げたり歯を動かします。

#### ◆バイオネーター

主に下顎の成長を前方あるいは後方に誘導する目的の矯正装置で、下顎と上顎の噛み合わせをよくし、出っ歯や受け口や過蓋咬合を改善します。この装置は下顎を正しい位置に誘導するために、噛み合わせたときに下顎が適正に成長するように作られています。



#### ◆ヘッドギア

上顎の成長が強すぎるために起きる上顎前突や出っ歯に適応し、上顎・第一大臼歯から後方に力をかけ、頭部から後ろに引っ張るようにして装着します。



上顎の成長を抑え、上顎の奥歯を後方に移動させます。力の加え方を調整していきながら顎の成長をコントロールします。取外しが簡単に行え、通常、就寝時か自宅内で使用します。

#### ◆フェイシャルマスク

上顎の成長が悪く、下顎の成長が旺盛なために受け口になっているケースでは、フェイシャルマスクを使用して矯正治療を行います。おでこと下顎の間についている金具に、上顎を前方に引っ張り、下顎を後方に抑えるためのゴムを取り付けます。これにより、受け口を改善します。取外しが簡単に行え、通常、就寝時か自宅内で使用します。



## 永久歯列期(歯の交換期以降)に使用する装置について

永久歯列期(歯の交換期以降)に使用する装置は、基本的には、成人で使用する装置と同じになります。

### ◆透明なマウスピース矯正(旧クリアアライナー・現アソアライナー)

アライナーは透明ですので、装置を付けているのが、ほとんど分かりません。すべての症例で、使用できるわけではありませんが、積極的に応用しつつあります(当院はアソアライナー認定矯正歯科医院です)。



### ◆ブラケット装置

ワイヤーを使った矯正装置です。最も一般的な矯正装置として広く認識されています。見えにくい透明なセラミック製の装置もご用意しています。



### ◆クアッドヘリックス

主に上顎の歯を支える骨を拡大する装置です。



### ◆パラタルバー

主に抜歯により獲得できたスペースを有効に利用するための装置です。





## 第六章 矯正治療中のむし歯・歯周病予防

矯正治療中のむし歯は誰もが心配することのひとつです。むし歯ができてしまうとむし歯治療をするために、矯正治療を一時中断しなければなりません。そうなるとせっかく動いた歯がまた元の状態に戻ってしまい、いままでの治療が無駄になってしまいます。

矯正治療中における最大の敵はむし歯であるといっても、決して言い過ぎではないと思います。特に歯と歯が隣あっている部分はむし歯になりやすく(隣接面う触)、優秀な歯科医でも見落としてしまいがちです。

当院では限られた時間の中で確実な矯正治療を行うために、矯正治療中のむし歯予防に力を入れています。矯正治療中のむし歯治療は矯正専門医ではなかなか行ないませんが、一般歯科も行っている当院ならではの強みといえます。

### 【矯正中のむし歯・歯周病を防ぐ(1)】調整時にデンタルフロスでチェック

隣接面う触(隣り合っている歯にできるむし歯)の怖さは、小さなむし歯にみえても実は歯の内側深くまで感染している事がある事です。そのため気がついたときには、神経まで

達していて、かなり大きなむし歯になっている事もあります。

隣接面う触を防ぐためには早期発見が重要ですが、確認が難しい場所だけに発見が遅れてしまいがちです。

当院では矯正治療中のむし歯の早期発見・予防のために、デンタルフロスを使ったむし歯チェックを行っています。歯に異常があるとデンタルフロスが引っかかりますので、場合によってはレントゲン等で確認し、その歯の状態に合わせた処置または定期観察を行います。(必ず削るという訳ではありません。)



歯と歯が密着している部分に小さいむし歯が元々あった、あるいはできてしまった場合、抜歯症例に対しては、矯正治療で歯を動かしている途中に隙間ができてきたときに治療を行います。この場合、多くの場合、噛む面からでなく、歯の側面から最小限の形成で、歯と同色のコンポジットレジンと言われる強化型のプラスチックを詰めて治療を完了させる事ができます。

非抜歯症例では、むし歯治療を行えるほど隙間ができる事は少ないので、この場合は、応急的な修復物や詰め物で治療を行い、矯正治療後に最終的な治療を行う事が多くなります。応急的な詰め物だけでも行わないと、むし歯は進行してしまいます。また、矯正治療終了後の方が噛み合わせが良くなっているので、材料を問わず、本来の歯と同じ様な形態、あるいは、理想的な形態の修復物を装着しやすくなります。

一方、かなり大きいむし歯の場合は、一般的に歯の神経(歯髄)をとる治療が行われる可能性が高く、歯が脆くなり、寿命が短くなりやすいのですが、矯正治療中に神経を保護するお薬を詰めておけば、神経(歯髄)の表層部分に修復象牙質と呼ばれるものが少しずつ形成され、神経をとらずにすむという事もあります。

一般歯科も行っている当院だからこそ、ほとんどの場合、途中で中断させることなく最後まで矯正治療が行う事ができます。

### 【矯正中のむし歯・歯周病を防ぐ(2)】調整時のフッ素塗布

当院では矯正装置を取り付ける前に、ブラッシング指導とフッ素塗布を行っています。

フッ素を塗る事で歯質を強化し、むし歯になりにくくしてくれます。患者様の歯の状態など

を見ながら3~4か月ごとに行いますので、かなり高い予防効果をあげています。

なお、フッ素塗布をしたからといって完全にむし歯を防げるわけではありません。何よりも大切なことは日ごろのブラークコントロールです。患者様ご自身で歯ブラシをしっかり行い、フッ素入り歯磨き材の使用やフッ素洗口を併用する事で、フッ素塗布との相乗効果が期待できます。



## 第七章 矯正治療 Q&A

### Q1.矯正って安全にできるの？

A.適度な矯正力を適切な方向に加えることによって、安全に治療できます。

歯とその周囲の骨(歯槽骨)との間には、歯根膜という線維に富んだ組織があります。歯に適度な矯正力を加え、歯根膜を圧迫すると、そこに骨を吸収する細胞が現れ、反対側の引っ張られる歯根膜には骨をつくる元になる細胞ができます。

そして、歯はゆっくりと動き出します。これは歯が、骨の中を通して萌出してくるのと同じメカニズムです。ですから、適度な矯正力を適切な方向に加える事で、歯を無理なく移動させる事が可能になり、安全に矯正治療を行う事ができるのです。

また、超弾力性形状記憶合金やバネを使用する事で、ごく弱い力で少しずつ歯を動かす事が可能ですので、はたから見て想像するほどの痛みや不快感はありません。

ただ、過度の矯正力が働いたり、矯正力の方向が適当でない場合、歯の根っこの部分が極端に吸収したり、歯肉の形態が著しく変化することあります。安全には矯正治療を

行うには、やはり、しっかりとした矯正技術を持っている歯科医の元で治療を受ける事が重要と言えるでしょう。

### Q2.矯正治療で歯並びをきれいにしたい。歯の審美性と機能性の両立は可能？

A.正しく治療すれば両立は十分可能。技術の確かな専門医を受診しましょう。

とても重要なお質問だと思います。確かに、せっかく歯並びがきれいになっても、噛む機能が損なわれてしまうのであれば、矯正治療の効果は台無しになってしまうでしょう。

矯正治療中は、一時的にですが、物を噛むのに苦労する事があります。特に矯正装置を入れてから 1 週間程度は、歯が移動するため、噛むと歯が浮いたような感じがして痛みを伴うこともあるでしょう。

そのようなときは、噛む前にあらかじめ食べ物をやわらかくしたり、小さくしたりして対処する事が可能です。また、歯並びは悪くても、それなりに安定していたものを矯正して動かすわけだから、治療前より多少噛みづらいつと感じる時期が出てくるかもしれません。そういった場合も、細かい技術を用いて、なるべく負担が軽くなるように調整することは可能ですから、過度に心配なさらないでください。

矯正治療においては、顔の骨格や軟組織との調和を図りつつ、あごにも負担をかけないように配慮しながら、歯を歯槽骨の中に無理なく並べ、さらに上下1本1本の歯をしっかりと噛み合わせることを最終目的とします。したがって、正しい矯正治療が行われさえすれば、治療後の見た目の美しさ(審美性)と機能性はおのずから両立されてくるはずで

す。しかしそうは言っても、歯科医院によっては、前歯の歯並びだけを取り繕い、歯の噛み合わせや機能性といったことを無視して治療が行われているケースがあるのも事実です。そのような治療を行えば、咀嚼や他の機能まで損なわれてしまう可能性は非常に高くなると言わざるをえません。審美性と機能性を両立させるには、正しい矯正治療の技術に長けた専門歯科医の元で、治療を受けることをお勧めします。

### Q3.成人後でも矯正はできるの？

歯並びが悪いことにコンプレックスを持っています。親戚の子どもが矯正治療を受けていますが、歯医者さんに治療は早い方がよいと言われたというのです。私はいまからでも治したいと思っていたのがっかりしてしまいました。成人でも矯正はできるのでしょうか。

A.基本的にはいくつになっても可能です。

成人でも矯正歯科治療はできます。けれども、成人の場合、歯周病(歯槽膿漏)の問題が大きく関わってくる事があります。歯周病は、歯の周りの骨を溶かしてしまう病気で、この進行度が高い場合は、矯正治療は控えた方がよいでしょう。また、成長期と違って顎の発育が期待できませんので、上下の顎のバランスを整えるには、若干やりにくい部分があります。治療期間も子どもに比較すると多少長くなる傾向があります。

しかし、こういった点を考慮すれば、矯正治療は基本的にはいくつになっても可能なのです。最近では、国際化時代に対しての日本人の意識の高まり、健康面と審美面に対しての意識レベルの上昇、あまり目立たない装置の普及といったことから、成人の方も矯正治療を受ける事が多くなりました。40代、50代の患者様も徐々に増えています。しかし、慎重にならなければいけない点もあります。歯並びが気になる方は子どもでも大人でも、ぜひ矯正治療に精通した歯科医にご相談されることをお勧めします。

### Q4.矯正装置によって日常生活に支障？

A.普段どおりに生活できます。歯磨きは念入りに。

生活に支障をきたすようなことはありませんが、歯をみがく際、装置がじゃまになるということがあります。矯正治療中は普段以上に歯磨きを念入りに行い、むし歯や歯周病予防

に努める必要があります。

食事の面でもある程度の配慮が必要。装置の破損・変形の恐れのある堅いものやくつきやすい食べ物、むし歯になりやすい甘いものなどは極力控えるなど。ただし、あまり制限しすぎるのもマイナス。あくまで適度に。

## Q5.目立たないタイプの矯正装置はどう違う？

A.原理や効果は同じ。症状によっては使用できない場合も。

歯に装着する矯正装置がいやで、外見上の理由から治療に二の足を踏む人もいますが、最近では、目立ちにくい装置も普及しています。

ポピュラーなマルチブラケットという装置は、歯の表側に装着し、従来の金属製のタイプだと非常に目立ってしまうため気にする人も多かったのですが、現在は、セラミック製やプラスチック製の透明あるいは白いタイプなど、目立ちにくいものが、むしろ主流になっています。ただし、セラミック製は硬すぎてかえって欠けやすい、プラスチック製は耐久性に劣るなどの難点もあります。

歯の裏側に装着する事で、外見上、他人に気づかれにくいタイプの装置もあります。原理や矯正効果の点では表側につける装置との差はありませんが、歯の裏側がみがきにくい、舌があたって発音しづらい場合がある、矯正期間が長め、費用が高額（通常治療の約2倍）といった短所がある他、症状によっては使用できないケースもあります。

なお、当院では裏側からの矯正治療は行っていません。

## Q6.矯正終了後に行う「保定」とはなに？

A.矯正した歯の後戻りを防ぐ大事な段階です。

矯正治療によって望ましい位置に移動させた歯は、矯正装置を外すと再び元に戻ろうとしてしまいます。そうならないように、移動した望ましい位置で歯が安定するまでのしばらくの間、リテーナーと呼ばれる保定装置を装着して歯並びの後戻りを防ぐことを「保定」といい、矯正治療の流れにおいて仕上げにあたる重要な段階です。

リテーナーは取り外しが可能な装置で、食事や歯磨きの際には一時的に外しても大丈夫な場合がありますが、保定を怠ると後戻りしてしまってせっかくの治療が水の泡になってしまう恐れもありますから、油断することなく、担当歯科医師の指示をしっかりと守って生活



をする事が大切です。

保定期間にはやはり個人差がありますが、約 1～2 年間ほどと考えてよいでしょう。保定期間中も数カ月に 1 度のペースで通院し、担当の歯科医師の定期的なチェックを受ける必要があります。

## Q7.矯正治療の費用はどれぐらい？

A.一概にはいえませんが、目安は 80 万～150 万円ぐらい。

顎の手術を要するケースや口唇口蓋裂の矯正治療の場合は健康保険が適用になりますが、その他の矯正治療は保険適用の対象になりません(自由診療)。つまり、費用設定は各医療機関の裁量にまかされるため、受診先によってまちまち。運営コストの地域差を反映し、地域によっても相場は異なります。

平均的な目安としては、総額で 80 万～150 万円ぐらいが適正な料金と考えておくとよいでしょう。

※当院においては、成人でクリアブラケット使用の場合、毎回の治療費および保定を含めたすべての矯正治療費は、70～85 万円前後とお考えください。

## 第八章 院長について

当院は、矯正治療から審美・予防を含めた一般歯科まで行う数少ない歯科医院です。「矯正・審美・予防に優れ、応用できる歯科医院」をモットーに総合的な歯科治療を行っています。



私は歯科医師としてなにが大切なのかを考えたとき、まずは予防が一番と考えました。そこで、大学院に進学し、予防歯科について探究し学位を授かりました。続いて歯科診療において、歯並び、噛み合わせ、さらに歯科における美しさについても興味を持ち、矯正歯科の修練を積んで認定医の資格を取得する事ができました。

美しい歯、歯肉、歯並び、口もと、機能的な噛み合わせは、すべて豊かな表情・健康美につながります。そしてこれらを保とうとするエネルギーが保健行動に向かわせます。きれいな歯および歯並びと機能的な噛み合わせで豊かな人生をおくる事ができたなら、これに勝るものはないと考えています。

## 医者の父の背中を見て育ち医療を目指す

私の父は内科の開業医をしていました。家庭の中に仕事を持ち込むことはありませんでしたので、父がどのような診療をしていたのかは知りません。それでも往診に出かける事が多かったの、かなり大変な毎日だったと思います。

私も医者になりたいと思っていた時期がありました。でも父を見ているとほとんど自由な時間がなくて、子ども心にもお医者さんは大変だなんて思っていたんですよ。(ちなみに、私が、実際に歯科医院を開業して判ったのですが、何事も仕事を一生懸命おこなおうとすると自由な時間はほとんど持てない事を、現在、実感しています。自由な時間を持てるか持てないかは、少なくとも職業ではないのかなと思っています。)

高校生になり進路を決定するとき手に職をつけたいと思っていたので、医師も選択肢のひとつにあったんです。でも人の生き死に関わる仕事って責任が重大ですよ？当時はまだまだウブな青年でしたので、そんな重圧に耐えられるだろうかと真剣に悩んでしまったのです(笑)

いまでこそ歯医者さんは過当競争の時代ですが、私が大学を受検した時代は花形職業

のひとつだったんですね。世の中の人が必要としている仕事ですし、道は違っても同じ医療です。どうせ手に職をつけるならこれからは歯医者さんかな？と思い、歯科医を目指しました。

## 予防歯科の研究から視野の広い歯科医に

大学に入学したときは矯正治療に興味があったので、いずれは矯正の道に進みたいと思っていました。でも矯正専門でやっていくとなると、一般歯科の治療の知識や技術がほとんど生かせなくなるのです。



私は、将来的に矯正治療だけでなく、むし歯や歯周病や噛み合わせなど、口腔内全体を総合的に治療していきたいと考えていました。それには、もう少し一般歯科の知識や技術を身につけておいたほうが、より理想に近い治療ができると思い、大学院で予防歯科を学ぶことにしました。

予防歯科の研究はとても地道でしたが、勉強してきてよかったなと思っています。もし矯正専門医として治療していたら、矯正治療中にむし歯や歯周病が見つかったとしても自

分では、どうすることもできなかったと思います。結局、途中で治療を中断し、一般歯科で治療してもらうことしかできません。その間、動いた歯は戻ってしまい、それだけ治療期間も長引いてしまいます。

幸いにして私は一般歯科も行っています。歯の動きに併せた適切な治療が行うので、治療期間を引き延ばす事はありません。また矯正治療中のむし歯や歯周病の早期発見もできますしね。大学院時代の研究を生かした予防優先の治療を行っていますので、患者様にも喜んで頂いているのではないかな？と自分では思っております。

### 患者様への気配りが長いお付き合いのコツ

患者様の中には私が矯正治療を行っているという事で、「いろいろな治療に精通している」と、一目置いてくださっている方が結構多いのです。特に PMTC を含めた歯のクリーニングは、治療の一環として行っていますので、すごく喜ばれていますね。



患者様の期待度が高まると嬉しい反面、ときにプレッシャーに感じることもあります。でも

頼りにされている証拠でもあるわけですから、ありがたいですよ。駅前という立地だからかもしれませんが、転勤・転居される方が多いのですが、その割に治療に来られる患者様は長いお付き合いの方が多く、みなさん熱心で、定期的に検診に来てくださるのですよ。

よくコミュニケーションのコツは？と聞かれるのですが、自分で言うのもなんですが、正直、あまり口は達者な方ではないと思います。強いてあげるなら、患者様の気持ちになるべく近づくように心掛ける事と患者様に失礼がないように接する事でしょうか。患者様を尊重し、ありのままの姿で診療を行う事が、コミュニケーションのコツなのかもしれませんね。

## おわりに

この小冊子を最後までご覧いただき、ありがとうございました。いかがでしたでしょうか？

矯正治療について、ご理解いただけましたでしょうか？

この小冊子で取りあげた内容は、ほんの一部にすぎません。さらに矯正治療をご検討の方は、ぜひ一度、当院にご来院ください。患者様の不安や悩み・疑問について、ご納得いただけるまでご説明していきます。この小冊子がきっかけとなり、一人でも多くの方に矯正歯科治療についてご興味をお持ちいただければ幸いです。



フーガ2矯正&ブライツ歯科 院長 青柳佳治

### 【プロフィール】

■出身: 東京都大田区 (1963年生まれ)

■学位: 歯学博士

### ■認定医:

日本矯正歯科学会認定医、日本成人矯正歯科学会認定医、  
日本口腔衛生学会認定医、日本顎咬合学会咬み合わせ認定医

### ■経歴:

- 1981年 神奈川県立希望ヶ丘高校卒業、鶴見大学歯学部入学
- 1987年 鶴見大学歯学部卒業、歯科医師免許取得  
現在に至るまで歯科診療に従事
- 1988年 鶴見大学歯学部大学院博士課程に進学
- 1992年 鶴見大学歯学部大学院修了、歯学博士授与(専攻: 予防歯科学)  
神奈川県立歯科大学矯正科入局、矯正専門医院(指導医常勤)勤務
- 1995年 Tweed Course (USA) 修了
- 1997年 日本矯正歯科学会認定医取得
- 1998年 フーガ2歯科&矯正歯科開設、矯正歯科に関する更生・育成医療機関に指定される  
fuga 歯列矯正研究所開設
- 1999年 日本顎咬合学会咬み合わせ認定医取得
- 2002年 fuga 審美歯科研究所開設、日本口腔衛生学会認定医取得  
日本成人矯正歯科学会認定医取得
- 2006年 日本歯科医師会学術研修認定医取得
- 2007年 医院名を“フーガ2矯正&ブライツ歯科”に変更

### ■所属団体:

日本矯正歯科学会、日本成人矯正歯科学会、アメリカ矯正歯科医会(AAO)、世界矯正歯科医連盟(WFO)、Tweed Foundation(USA)、日本口腔衛生学会、日本顎咬合学会、日本歯科審美学会、日本口蓋裂学会、日本顎変形症学会、日本歯科医師会、神奈川県保険医協会、他

## フーガ2矯正 & ブライツ歯科

【住所】〒230-0062

横浜市鶴見区豊岡町 2-2 フーガ2-308 (3階)

【電話番号】045-585-0811

### 【診察時間】

曜日	午前	午後
月火木金	9:50~12:50	15:00~19:30
水	9:50~13:00	14:00~18:00 受付業務のみ
土	9:00~13:00	14:00~18:00 受付業務のみ 月1回午後も診療

### 【アクセス】

- JR 京浜東北線 「鶴見駅西口」スグ階段を下りずに直接ご来院できます。  
鶴見駅周辺だけでなく、遠方からも JR 京浜東北線を利用し、ご来院される患者様が多数いらっしゃいます。
- 駐車場あり (西友・フーガ駐車場: 割引あり, 30分 100円)



詳細は当院ホームページ ([www.fuga2.com](http://www.fuga2.com)) をご覧下さい。

携帯サイトもあります!

<http://www.fuga2.com/m/>

